◆What's New？◆



『てのひらに未来』

工藤　純子／作　酒井　以（さね）／画　くもん出版

充実した学生生活を送っていた中学 2 年生の琴葉（ことは）。父が営む町工場が危ういことを知り、17 歳の居候・天馬（てんま）と町工場の現状について調べるうちに、琴葉は次第に天馬を意識するようになります。そんな中、2 年間音信不通だった天馬の父が訪ねてくることになり・・・。2 人と一緒に進路や家族、平和についてぜひ考えてみてください。



『ねこチラ』

パイインターナショナル／編著・出版

壁チラ、箱チラ、袋チラ。猫のチラリズムを集めたユニークな写真集です。隠れたつもりでも体の一部がチラっと見えている。そんなかわいらしいネコの姿に癒されてみませんか。

表紙画像の出典：各出版社のホームページより

長岡市立地域図書館（７館）

互尊文庫	TEL35-7981	中之島地域図書館	TEL61-2165
西地域図書館	TEL27-4900	寺泊地域図書館	TEL75-5159
南地域図書館	TEL30-3501	栃尾地域図書館	TEL53-3005
北地域図書館	TEL22-7100	☺お問い合わせは北地域図書館へ	

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3　mail：lib.kita@nscs-net.ne.jp

★図書館ホームページ　https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集・発行／指定管理者　株式会社図書館流通センター（TRC）

YoungAdultNews

～ヤングアダルトとは、12～18 歳くらいのみなさんのことです～

2020年　6月号　Vol. 75

今号のテーマは「怖い」です。
だんだん厳しくなる暑さを乗り切るために「怖い」本を読んで涼んでみませんか？



『狐霊の檻』

廣嶋　玲子／作　マタジロウ／絵　小峰書店

富を成し権力を思いのままにする阿豪家。その屋敷の離れの結界の中には、美しい狐霊「あぐりこ」が 90 年前から囚われていました。その祟りを和らげるためだけに阿豪一族に買われた千代。出会った時から心を通わせた二人は結界の封印を解く機会をうかがいます。怖いけれど不思議な展開で、ぞくぞくしながら一気に読めます。



ちょっと一息…

『Kiss!』小原　玲／著　小学館

キスやハグが大好きなプレーリードッグ、ニコニコ笑顔のアザラシの赤ちゃん、まん丸で愛らしいシマエナガ。怖い本を読んだ後の気分転換にいかがですか。

テーマ「怖い」



『お出かけは「13日の金曜日」』
赤川 次郎／著　汐文社

13日の金曜日にキャンプ場へ出かけることになった女子大生のグループ。一人の学生が、有名なホラー映画「13日の金曜日」の状況と、自分たちが置かれている状況がそっくりなことに何とも言えない不安を覚えます。彼女たちは無事に帰ることができるのか、最後まで目が離せません。



『文豪ノ怪談ジュニア・セレクション　厠（かわや）』
谷崎 潤一郎・松谷 みよ子／ほか著
東 雅夫／編・註釈　ハダ タカヒト／絵
汐文社

究極のプライベート空間とも言える「厠」（トイレ）。誰もが一度は、恐ろしさで思わず後ろを振り返ってしまったことがあるのではないでしょうか。そんな記憶や感情を呼び覚ます、「厠」をテーマとしたアンソロジーです。古今の文豪たちの怖い話や不思議な話に総ルビと丁寧な註釈が付けられた、文学初心者にもおすすめの一冊です。



『おろしてください』
有栖川 有栖／作　市川 友章／絵
東 雅夫／編　岩崎書店

裏山を探検していて道に迷ったぼくが見つけた小さな駅。町へ帰ろうと列車に乗りますが、トンネルを抜けた辺りから周りの人がばけものに変わりはじめて…。日本を代表する作家、画家たちが贈る「怪談えほん」シリーズの一冊。文章と絵が融合することで生まれる絵本ならではの恐怖が味わえます。



『きのうの影踏み』
辻村 深月／著　KADOKAWA

いつもは気にしないのに、ふとしたことですごく気になる…。何とも言えない不気味さが、日常の中からぞわっと這い出てくるような、そんな感覚を味わえる短編集です。十円玉、手紙、噂話など、身近にあるものだからこそ、より現実味を感じ、じわじわと恐怖がやってきます。



『羊の告解』
いとう みく／著　静山社

父親が殺人を犯し、「加害者家族」となってしまった中学三年生の涼平。親友や彼女が自分から離れていくのを恐れた涼平は、皆に黙って転校することに。しかし、新しい学校で自身と同じ境遇の少女が嫌がらせを受ける場面に遭遇したことから、抑え込んでいた感情が爆発。追いつめられる少年の姿に、人間の怖さを感じます。